

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月31日

計画の名称	名城公園の魅力向上												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	名古屋市												
計画の目標	名城公園の基幹施設である名古屋城において、戦災により焼失した本丸御殿を復元すること等により、市民の新たな誇りを創出するとともに、歴史的・文化的価値と魅力を向上し名古屋圏の活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,587	A	3,576	B	0	C	11	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.3	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H21実績	H28年度	H32年度
1	観光施設である名古屋城への来場者を、135万人(H21年度)から210万人(H32年度)に増加 名古屋城への来場者数を、本丸御殿の公開による来場者増を勘案して算出する。	135万人	180万人	210万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---





事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 名古屋市	事後評価の実施時期 令和3年8月～11月
	公表の方法 名古屋市HP上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本丸御殿の第3期公開の開始により、平成30年度は来場者数220万人を達成することができた。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、整備計画最終年度の令和2年度は来場者数が減少した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・復元模写障壁画等の作成は終了していないため、第3期公開後も完成した復元模写障壁画を順次、本丸御殿内の壁や建具などに貼り込む表具工事を継続して行う。</li> <li>・令和3年度に新たに公開した、重要文化財旧本丸御殿障壁画を展示する西の丸御蔵城宝館とも連携し、引き続き制作する復元模写障壁画をPRする等、本丸御殿が持つ魅力をわかりやすく伝え、歴史的・文化的価値を発信していく。</li> <li>・定量的指標について、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした臨時閉園のような不測の事態が起きた際に、適切な評価をするためには「来場者数の増加」の1つでは不足している。「来場者数の増加」とは別の視点として、新たな指標を設ける必要がある。</li> </ul>	

